



令和8年5月号

大津市立南郷小学校

発行：チーム担任制推進委員会

「みんなで育てる」を実感 ～保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました～

保護者の皆様、日頃より本校の教育活動およびチーム担任制へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。前回の通信では、チーム担任制に対する子どもたちの生の声をお届けしましたが、今回は先日実施いたしました「保護者アンケート」の結果や、皆様からいただいたご意見をご紹介します。

お忙しい中、たくさんの貴重なご意見をお寄せいただき本当にありがとうございました。皆様からの温かいお言葉は教職員の励みになり、また、率直なご不安やご質問は今後の体制をより良くするための大切な道標となっております。

チーム担任制4月号 保護者アンケートより

【おうちの方が感じた「チーム担任制」のメリット】

多くの保護者の皆様が、この2ヶ月間でチーム担任制の良さを感じてくださっていることが分かりました。いただいたコメントの一部をご紹介します。

☑「沢山の先生に見ていただけるという安心感があります。」

☑「先生たちが自分たちのことを気にかけてくれて、安心して話せる先生がいるということは、子供たちにとって安心感が非常にあると感じています。」

☑「今週は〇〇先生だ、と予定表を見て先生が毎週変わることを楽しみにしているようです。色々な先生と関わることにより気持ちも入れ替えて取り組んだりできているのかなと思います。」

☑「この制度で、学年全体がクラスを越えて仲間で助け合い、支えられるようになればいいなと思います。」

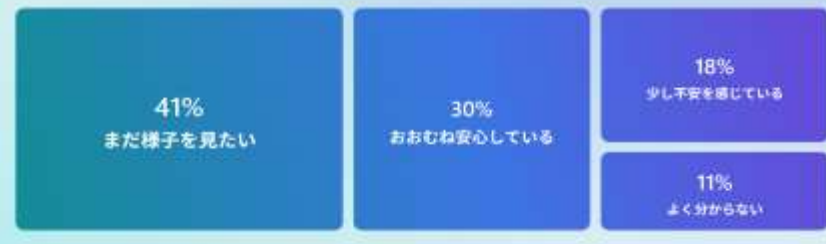
☑「写真の添付で、全体での動きや様子が伝わり安心しています。複数の先生で、業務をわけられることで、お便りなども、わかりやすいというメリットを感じて安心しています。」



【お答えします Q&A アンケートでいただいたご不安・ご質問】

一方で、新しい試みだからこそ「ここは大丈夫かな？」というご不安の声もいただきました。皆様が安心して学校に子どもを預けられるよう、学年チームとしての取り組みをお答えいたします。

チーム担任制について、現時点でのお気持ちはどれに近いですか。



🗨️ Q. 連絡事項や子どもの様子は、本当に先生たち全員に共有されているの？

🗨️ A. はい、確実に共有できるようチームとして連携しています。毎日放課後に、その日にあった子どもたちの様子や、保護者の皆様からいただいたご連絡を学年担任で必ず共有しています。また、デジタルツールも活用し、リアルタイムでの情報共有漏れがないよう徹底しています。

🗨️ Q. 「教科担任制(授業ごとに先生が変わる)」のメリットは分かりますが、「担任ローテーション(期間ごとに学級を交代で担当する)」をする意味は何ですか？

🗨️ A. 貴重なご視点からのご質問をありがとうございます。

確かに、授業を分担するだけであれば「教科担任制」だけで十分なように思えます。しかし、私たちが「担任ローテーション」を行うのには、子どもの生活面や心理面において、非常に大きな教育的意図があります。

① 子どもの「多面的な姿」を生活レベルで捉えるため

授業中(教科担任)の姿だけでなく、朝の会、給食、掃除、帰りの会といった「学校の日常の生活場面」を一緒に過ごして初めて見えてくる、子どもの良さや課題があります。「教科の先生」としてだけでなく「生活を共にする担任」として全教員が各クラスを巡ることで、一人ひとりの人間性をより深く、多角的に理解することができます。

② 子どもたちが「本当に安心できる居場所」を自分で選べるようにするため

子どもたちにも多様な個性があり、教員との相性も様々です。1人の担任だけが固定されていると、万が一相性が合わなかった場合に子どもが孤立してしまうリスクがあります。ローテーションを通じて、学年全ての先生と生活を共にすることで、子どもたちは「この先生なら自分の悩みを話しやすい」「この先生は自分の趣味をよく理解してくれる」と、自分自身で安心できる居場所(相談相手)を見つけることができます。

③ 「学年全体がひとつの大きなクラス」という安心感を育むため

クラスの壁を取り払い、学年担任全員がローテーションに関わることで、子どもたちは「〇組の先生」ではなく「学年の先生みんなが、自分の担任なんだ」という高い安心感を持つようになります。同時に、子ども同士もクラスの枠を越えた広い人間関係を作りやすくなるというメリットがあります。教科の専門性を生かす「教科担任制」のメリットと、子どもたちを複数の温かい生活の目で見守る「担任ローテーション」のメリット。この両輪を組み合わせることで、子どもたち一人ひとりにとって最も手厚く、安心できる環境を作りたいと考えております。

🔗 Q. 結局、誰が我が子の「一番の理解者(責任者)」になるの？

🗨️ A. 学年担任「全員」が、お子様の担任であり責任者です。一人の担任だけが抱え込むのではなく、複数の目で見ることこそ、お子様の小さな変化や良さに気づくことができます。もちろん、事務的な窓口やトータルの進路・生活指導の主軸となる「担任(その学級の週担当)」はありますが、何かあった際は学年チーム全体で責任を持って対応いたします。

🔗 Q. 相談したいとき、どの先生に連絡すればいいか迷います。

🗨️ A. 連絡帳や電話連絡は、どの担任宛でも大歓迎です！話しやすい先生、またはその件に深く関わっている先生(教科の相談なら授業担当など)に直接お伝えいただいて構いません。どの担任が受け取っても、チーム全体で共有して対応いたしますので、どうぞ遠慮なくお気軽にご連絡ください。

🔗 Q. 担任がローテーションすると、先生と子どもとの「深いつながり(絆)」が持ちにくくなりませんか？

A. 最もなご心配だと思います。「担任の先生との特別な絆」は、学校生活における大きな安心感の土台だからです。

結論から申し上げますと、私たちはチーム担任制を「つながりを浅くする仕組み」ではなく、「深いつながりを“複数”に増やす仕組み」だと考えています。

従来の固定担任制では、良くも悪くも「先生と子どもの1対1のつながり」にすべてが委ねられていました。しかしチーム担任制では、学年スタッフ全員がそれぞれの方法でお子様と深く関わります。

ある先生とは「大好きなサッカーの話題」で深くつながる

別の先生とは「苦手な算数を一緒に克服した経験」で深くつながる

また別の先生には「友達関係の悩みをそっと相談できる」

このように、一人の子どもに対して「何本もの太い信頼の糸」が結ばれていきます。

また、学年担任全員が「自分のクラスの子」という枠を超え、「学年全員が自分の教え子」という強い当事者意識を持っています。一人の目では気づけなかった小さな変化や、ふとした表情のサインも、複数の担任が「面」で関わることで、より早く、より深くキャッチして心のケアにつなげることができます。

決して絆が薄まるわけではありません。むしろ、お子様を多角的に理解し、支える「深いつながり」がチームで何倍にも増えていくのだと、これからの姿で証明していきたいと考えております。

アンケートを通じて、保護者の皆様が子どもたちを温かく見守り、このチーム担任制を一緒に支えてくださっていることを強く実感いたしました。

「みんなが担任、みんなで育てる」を「みんなでみんなを！」合言葉に、いただいたご意見を日々の教育活動に活かし、さらに質の高いサポートを目指してまいります。今後とも、お気づきの点がございましたら、いつでもお気軽にお声がけください。

■ チーム担任制に関するご意見はこちら

[【チーム担任制通信5月号】ご意見・ご感想フォーム - フォームに記入する](#)

